

南三陸町自然環境活用センター 初夏の特別講座

参加無料
(申込み不要)

2022年6月11日(土)
南三陸町生涯学習センターにて※
18:00~20:00
(17:30開場)

毎年初夏になると、南三陸沿岸にもイルカの群れがやってきます。今回は、青森県の陸奥湾をフィールドに研究と教育活動を展開してこられた五十嵐健志さんに、最新の研究情報や、イルカを題材とした教育活動・地域づくりについてご紹介いただきます。

※〒986-0727 宮城県本吉郡南三陸町志津川新井田165-1
※コロナウィルス感染拡大防止のため、検温およびマスク着用にご協力ください。
※コロナウィルス感染状況等により予定が変更となる場合があります。



陸奥湾のイルカと地域活性 ～ワクワクしながら皆が楽しみ、 学び、つながる～



講師：Mutsu Bay Dolphin Research 代表
(下北自然環境センターLLC)

五十嵐 健志さん



主催：南三陸町自然環境活用センター
Tel. 0226-25-9703

陸奥湾のイルカと地域活性 ～ワクワクしながら皆が楽しみ、 学び、つながる～

Mutsu Bay Dolphin Research 代表 いがらし 五十嵐 たけし 健志

(プロフィール)

山形県山形市生まれ 59歳

現、下北自然環境センターLLC、Mutsu Bay Dolphin Research代表

むつ市海と森ふれあい体験館 館長 (2004～2021年) として同館開設時より運営・管理を行う。「科学する心を育む」ことを掲げ、陸奥湾に面する青森県むつ市川内町の海や川、山でフィールド調査を行い、この地域ならではの学習プログラムを作り社会教育や学校教育を行う。また、陸奥湾でのドルフィンウォッチングを行政と事業化、調査で得られた映像を使った自然番組制作などの活動を通して地域振興に貢献した。

(内容)

2015年に立ち上げた研究グループMutsu Bay Dolphin Researchの代表として、毎春5～6月に青森県陸奥湾に回遊してくるカマイルカの調査研究を行ってきた。

今日は、これまでの調査の様子、カマイルカを教材に実施している学校教育、ドルフィンウォッチングの事業化と観光等の地域振興への貢献について映像を使ってお話しします。

また、MBDRメンバーの英国人リアン・ロサーさんから最近の研究成果について紹介してもらいます。本物の「英語」を学ぶチャンス！…かもしれません。